

『復刻・幼児の教育』〈大正・昭和篇〉

〔趣旨〕

『幼児の教育誌』は、明治三十四年『婦人と子ども』と題されて創刊されて以来、今日に至る迄八十年の長きに亘り、わが国幼児保育の発展と歩みを共にして来た。この間、幾多の先駆的保育理論、実践研究発表等が誌上を飾り、わが国の幼児教育の発展に測り知れない寄与を成して来た。現在まで継続する幼児教育専門誌として、わが国最古最長であるのみならず、雑誌出版史上、極めて稀有な例を示している。

本書は、昨年刊行の『復刻・幼児の教育』（第一期・明治三十四年～大正九年）に続き、大正十年～昭和十九年の二十四年分、二十四巻を、一挙に復刻刊行するものである。大正・昭和期はわが国幼児保育が日進月歩の高進を示し、時代背景もめまぐるしい変貌を遂げた時期にあたる。

わが国の幼児教育の進歩の様相を概観する好個の原資料として、また先達の抱負や熱意の結晶する稀有な文献として、現代保育を考える人々に資することを念願する。

〔体裁・内容〕

全二三巻、別冊著者別索引、A5判、クロス装、外函入、題字・東山魁夷

《第二一巻～第四四巻》大正十年～昭和十九年

『幼児教育』（第二三巻第八号まで）

『幼児の教育』（第二三巻第九号以降）

○原則として一年分を一巻に合本（第四三巻・第四四巻を一巻に合本）

○総頁数・約二万頁、各巻平均八三〇頁

○各号表表紙から裏表紙まで、広告頁も含めて、完全復刻。

○色刷の表紙もできる限り原本に近い色で再現。

○復刻にあたっては原本を尊重し、原則として修正を加えない。

《著者別索引》

・本文二四頁程度。

・戦前版通巻（第一巻～第四四巻）の総執筆者を収録。

・〈個人名〉、〈ペンネーム〉、〈団体名〉別に収録。

〔刊行〕 名著刊行会

〔定価〕 現金価格二二五、〇〇〇円

〔申込・問合わせ先〕

総発売元・株式会社コーディック

東京事務所 千代田区神田神保町三―二五 精和ビル

TEL (〇三) 二九五―三五六一

大阪本社 大阪市西区北堀江三―六―二三

TEL (〇六) 五三一―九八〇一